

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年9月29日

第11号

子供を見守る

9月21日から30日まで、秋の全国交通安全運動期間ということで、毎朝、交通安全協会の方が校門前や青井谷の交差点に立って、児童の安全を見守ってくださっています。また本校教員も3か所に分かれて立哨し、「十分な間隔をあけて、一列で歩いているか」「手を挙げて、左右の安全を確かめて横断歩道を渡っているか」「地域の方にさわやかな挨拶をしているか」「安全帽を被っているか」などを確認し、指導しています。

先日、校門前で登校の様子を見守っていると、交互通行のため前が詰まっているにもかかわらず、信号が赤になる直前に無理をして前に詰め、交差点内に止まってしまった車がありました。それを見た交通安全協会の方が、運転手さんに近付いて注意をしてくれました。その光景から、交通安全協会の方は「事故が起きないように」「児童が安全に登校できるように」と考え、強い気持ちで見守ったり、指導したりしてくださっていることが伝わってきました。

とても有り難く大切なことだと感じたので、本校の教職員にこのことを伝えました。「形式的に立哨していなかったらどうか」と自問させられる出来事でした。

「子供の安全を見守るとはどのようなことか」を教えられたような気がしています。ありがとうございます。



感染予防対策として

新型コロナウイルス感染症警戒レベルが、27日（月）にステージ2へ引き下げられました。また、10月上旬にはステージ1へと引き下げられるとの報道もされています。少しずつ感染状況は落ち着きを見せ始めているようです。しかし、終息したということではありませんし、新たにブレークスルー感染も出始めています。ここで気を緩めることなく、引き続き感染予防対策を行っていく必要があると考えています。

対策の一つとして、休み時間は低・中・高の学年別で遊ぶ場所を分けています。場所は、音楽室・多目的教室・体育館を開放しています。そこでの遊びをご覧ください。遊び方は限られますが、その中で工夫しながら遊んでいるような気がします。

子供たちには、少し我慢を強いるところもありますが、この状況の中で、どんな遊びが相応しいのかを考えながら、工夫して楽しむ。これも学びの機会の一つであるような気がしています。



稲刈り

27日（月）、5年生が学校田の稲刈りをしました。

米を作るのには88もの手間がかかると言われます。稲刈りは手間の終盤なので、苗植えからこれまでの間、学校田運営委員会やPTA生活環境委員の方々が、多くの手間をかけてくださったことと思います。5年生が関わる手間数は僅かですが、稲刈りをして一つの手間に加えていただきました。

初めは稲株を束ねて鎌で切ることに手こずっていた子供たちですが、次第に上手になり、その速さもどんどんアップしていきました。次に刈った根株を藁で束ねることも経験しました。機械化されてきた作業もあるようですが、それでも束ねたり



り運んだりなど、手作業でのことも多く、体験してみると

なかなか大変だったようで、汗をかきながら取り組んでいました。稲刈りをして、米作りの大変さが少し分かったのではないのでしょうか。

これまでは目の前によそってもらったご飯があることが当たり前だったかもしれませんが、手間がかかっていることを感じることでしょう。

学校田運営委員会の皆様、PTA生活環境委員の皆様、これまでのお世話、ありがとうございました。